学校番号	112

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『国語表現』　（大修館書店）						
副教材等	プリント教材、ワークシート等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業の目的は、「自分を表現できるようになること」です。国語表現の基本的な知識と技術を身につけ、「自分にしか書けない文章を書くこと」や、「自分にしか話せない話をすること」ができるようにしましょう。そのために、授業には受け身ではなく、主体的・能動的に取り組んでください。もちろん、忘れ物をしない、提出物をきちんと出す等の基本的な事項も厳守してください。

2　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。		言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価） 記述の確認 （ワークシート、原稿用紙等）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙等） 定期考査		行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	1 書いて伝える	1 整った文を書く 2 わかりやすい文を書く 3 文のつなぎ方	○ ○ ○		◎ ◎ ◎		◎ ◎ ◎	a:整った文を書くために大切なことを理解しようとしている。 c:長過ぎる文を避け、わかりやすい文を書こうとしている。 e:文脈による文のつながりを理解している。	a:行動の観察と確認 c・e:行動の観察及び記述の確認
	2 小論文・レポート	1 小論文とは何か 2 反論を想定して書く 3 文章を読み取って書く	○ ○		◎ ◎		◎ ◎	a:自分の意見を明確にしている。 c:意見を筋道を立てて書いている。 e:原稿用紙の使い方を理解している。	a:行動の観察と確認 c・e:記述の確認
2学期	3 自己PRと面接	1 自分を見つめて 2 効果的な自己PR 3 将来の自分を考えよう 4 志望動機をまとめよう	○ ○ ○ ○	○ ○ ◎ ○	○ ◎ ◎ ◎		 ○ ○	a:経験から自分の長所を考えている。 b:自分の特長を端的に表現できている。 c:調べたことを文章にまとめている。 e:調べたこと、やりたいこと、自己ＰＲの三つを結びつけている。	a:行動の観察と確認 b・c・e:行動の観察と発表の評価
	4 メディアを駆使する	1 通信文を書き分ける 2 電話を使いこなす 3 ネット社会とコミュニケーション	○ ○ ○	 ◎ 	◎ ◎		◎ ◎ ○	a:さまざまな通信文の形式を理解しようとしている。 b:相手に応じた適切な応対の仕方を理解している。 c:目的に応じて適切な形式で通信文を書いている。 e:使いこなせる言葉や表現の数を増やしている。	a:行動の観察と確認 b:行動の観察と発表の評価 c:記述の確認と評価 e:記述の確認及び定期考査
3学期	5 声のコミュニケーシ	1 言葉のストレッチ体操 2 リーダーズシアターを開こう 3 ショートスピーチをしよう	○ ○ ○	◎ ◎ ◎			 ○ ○	a:コミュニケーションの楽しさを感じている。 b:文章の内容に応じて効果的に朗読している。 e:話すことの順序を理解している。	a・b・e:行動の観察と確認と発表の評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
　　c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。